SysReturn Client V8.0

クックガイド

マニュアルについて

SysReturn 8.0 client ユーザーマニュアルは、SysReturn 8.0 client のインストールとその機能について説明しています。

対象

このマニュアルは、SysReturn 8.0 client をインストールし、SysReturn 8.0 client をセットア ップする必要がある人を対象としています。(以下「SysReturn」).

ドキュメントのフィードバック

ドキュメントを改善するためのご提案を歓迎しております。ご意見やご指摘のコメントがある場合は、<u>service@gfj.co.jp</u>までご連絡ください。

技術サポートと育成リソース

マニュアル最新版をご希望の方は、弊社に連絡ください。テクニカルサポート関連のリク エストは、<u>service@gfj.co.jp</u>に送信してください。

1.	第一章	機能の概要	4
2.	第二章	システム要件エラー! ブックマークが定義されてい	ません。
3.	第三章	インストール前の準備	4
4.	第四章	基本用語エラー! ブックマークが定義されてい	ません。
5.	第五章	インストール	6
6.	第六章	Windows インターフェイスの操作	13
	6.1、7	トーム	13
	6.2.i	鱼加	16
	6.3、1	复元	17
	6.4、肖	削除	
	6.5、1	复元ポイントのロック	19
	6.6、7	スタンドアロン環境	
	6.7、言	没定	
	6	3.7.1. 電源起動復元モードの設定	23
	6	シ.7.2. コンソールへの接続	I
	=	ラー! ブックマークが定義されていません。	
	6).7.3. ネットワーク設定	エ
	=	ラー! ブックマークが定義されていません。	
	6).7.4. ドメインへの参加/終了	エ
	=	ラー! ブックマークが定義されていません。	
	6).7.5. ブートメニューの設定	エ
	=	ラー! ブックマークが定義されていません。	
	6).7.6. ブートメニューホットキーの設定	エ
	=	ラー! ブックマークが定義されていません。	
	6	3.7.7 デバイスの制御	エ
	=	ラー! ブックマークが定義されていません。	
	6.8、そ	その他をついた エラー! ブックマークが定義されてい	ません。
	6.9、肖	削除クインション エラー! ブックマークが定義されてい	ません。
7.	第七章	Dos インターフェイスの操作	
	7.1、C)OS インターフェイスに入る	
	7.2、伐	呆留アレンジャン エラー! ブックマークが定義されてい	ません。

目次

7.3、復元	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.4、に復元	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.5、追加	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.6、削除	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.7、整理	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.8、開始点の更新	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.9、設定	エラー! ブックマークが定義されていません。
7.10、削除	

8. 第八章 ネット同期コピー…… エラー! ブックマークが定義されていません。 8.1.ネット同期コピー機能の概要エラー! ブックマークが定義されてい ません。

8.2.ネット同期コピー......エラー! ブックマークが定義されていません。
8.3.ローカル バックアップエラー! ブックマークが定義されていません。
8.4. ローカルリカバリ......エラー! ブックマークが定義されていません。
8.5. ハードドライブを同期コピーするエラー! ブックマークが定義されていません。
いません。

8.6. ローカルネットワーク設定を変更エラー! ブックマークが定義されて いません。

8.7. ヘルプツールの説明.エラー!ブックマークが定義されていません。

9. 付 録………………………………………….エラー! ブックマークが定義されていません。
 9.1 製品説明ツールの使用説明の復元エラー! ブックマークが定義されていません。

9.1.1 パスワードを忘れた場合(Acmpwd.exe)エ

ラー!ブックマークが定義されていません。

10. よくある質問......エラー! ブックマークが定義されていません。

- 1. 第一章 インストール前の準備
- 1、 コンピュータ システムが正常に動作し、スムーズであること、システムの最小要件 を満たしていることを確認します。
- 2、 CMOS の VRUS Warning を Disable として設定します。
- 3、 ハード ディスク情報が CMOS ハード ディスク情報と一致していることを確認します。一致しない場合は、BIOS 設定に入り、ハードドライブのモデルと容量を再検出する必要があります。 マルチブート ツールを使用している場合は、ハード ディスク MBR 領域でツールが使用されていないことを確認します。(MBR 領域はマルチブートで使用されます。最初にツールをアンインストールする必要があります。インストールしない場合、クライアント側プログラムがオペレーティングシステムを損傷する可能性があります。)
- 4、 オペレーティング システムのユーザーには、システム管理者権限が必要です。
- 5、 コンピュータに古いバージョンの製品が既にインストールされている場合、または他 の会社の同じ種類の製品がある場合は、まずアンインストールしてください。
- インストールの前に scandisk プログラムを実行することをお勧めします。ハード ディ スクのエラーを確認し、ハード ディスク再編成プログラム (defrager) を実行すると、 インストール後のプログラム実行効率が大幅に向上します。
- インストールする前にコンピュータをスキャンして、コンピュータにウイルスやトロイの 木馬がないことを確認します。

- 8、 この製品をインストールするときは、ウイルス対策ソフトウェアを一時的にオフにしま す。(少数のウイルス対策ソフトウェアがこの製品をコンピューターウイルスとして扱 うためです。)
- 9、 このバージョンの復元保護機能は、最初の物理ハードディスクのすべてのセクター に対してのみ有効であり、2番目(またはそれ以上)のハードディスクのデータを保護 することはできません。

2. 第二章 インストール

1、次の図に示すように、この製品インストーラ setup.exe を実行し、インストールの準備を 行い、インストール プロセスの残りの部分をガイドします。言語を選択し、[次へ] をクリッ クしてインストールを続行します。

InstallShield Wizard		- 🗆 X
インストールで使用する言語を次の	中から選択して下さい。	
	英語 韓国語	
	中国語(簡称字) 中国語(簡称字)	
	< 戻る(<u>B</u>) 次へ(<u>N</u>) >	キャンセル

2、 製品のようこそ画面が表示され、インストールに進む "次へ"をクリックします。 SysReturn & & OS(W251) - インストールウィザード × |



3、エンドユーザーソフトウェア契約画面が表示されますので、注意深く読んだ後「使用許 諾契約の全条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリックしてください。

SysReturn 8.0.005(W251) - インストール 使用許諾契約	717-1	×
次の製品使用許諾契約を注意深く	「お読みください。	
	使用許諾契約書 重要です。注意してお読み下さい。 この使用許諾契約書(以下、本契約書)は(個人またば法人と)台湾法人Howyar Technologies Inc (以下、Howyar)おび日本法人株式会社グリーンフラッシュ ジャパンとのソ トウェア製品についの決訪切契約書です。本契約書に対はシントウェア製品とは、コンピュー ソントウェア製品についての決訪切契約書です。本契約書であばはあンメトウェア 品を以下に定義されたインストール、コピー、その他の使用、アップデート等をすることによって、 契約書の条項に同意されたものとみなします。本契約書の条項に同意できない場合は、本ソ トウェア製品のインストール、コピー、使用をしないで下さい。 この場合、未使用のソフトウェア製品を購入店へご返品頂(ければ、お支払い頂)に全全額を全式 払い戻し致します。	↑ フタ製本フ 額 (P)
	● 使用計諾契約の条項に同意しません(D)	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·)th

4、[変更] をクリックして、必要に応じてソフトウェアのインストール先フォルダを変更し、[次へ] をクリックします。

インストール先の選択 ファイルをインストールするフォルタを選択し	८ ५	
	製品インストール パスの選択 C-¥ .¥Howya¥SysReturn SysReturn のインストール先	変更(()
	< 戻る(B) [法へ(N)>]	Cancel

5、マスター側のリモート管理、リモートメンテナンス機能を受け取る必要がある場合は、[ネットワーク機能をインストール]オプションを選択してください:画面右下のタスクバー内

にアイコンを表示するには、「タスクトレイアイコンを表示」を選択します。

nインストール設定を行ってください。		
	☑ ネットワーク機能をインストール(1)	
	✓ タスクトレイアイコンを表示(W)	

6、この時点で、システムの一部の機能をオフにするように求められます。これにより、製 品の安定性とパフォーマンスが向上します。ウインドウズアップデートの設定[無効(推奨)] にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。 ×

SysReturn	8.0.005(W251)	- インストール	ウィザード
systetum	0.0.005(1251)	- 1 / / ! - /	//19=1

インストール設定
 ウインドウズアップデートの設定 一 無効・更新プログラムを確認とます。ダウンロードしてインストールしない(推奨) ● 手動・アップデートを確認します。ダウンロードしてインストールするかどうかを選択してください。 ● 現在の設定を維持する 注 システルリカバリをインストールした後、起動失敗の可能性を回避するためにウインドウズアップデートを無効にすることを活くお勧めします。システムと広部に戻すにはサカバルを実行する必要があります。 一 確認らびシャーアップデートの開始と差がにしないと、システムが確認得する可能性があります。または、システムを副幹の状態に戻すことができない場合があります。
〈戻る(日) (次へ(1)) キャンセル

7、ハード ディスク パーティション情報が表示され、このインターフェイスで保護するパー ティションを選択できます。次に、[次へ]をクリックします。ハードドライブに隠されたセクタ があるため、保護をチェックすることを強くお勧めします。

							~
(* 隠し/	ーティション、単	位: MB)					
ドライブ ▼* ▼C ▼*	ラベル SYSTEM OS	7가(ルシステム FAT32 Ms Reserved NTFS NTFS	容量 260 16 476091 571	使用量 26 0 75733 494	空송容量 233 16 400358 86	保護状態 保護する 保護する 保護する 保護する	
マウスを使 ざい。 デフォルト	そって「呆護する」ペ のユーザーフォル	ーティションをチェック ダーを別のドライブ(っしてください。 の新しい場所	,複数選択でお 所に移動する。	きます。 少なくとも・ ロケーション・	一つのパーティションを減 を移動	は沢してくだ
		(<u></u>					

8、この画面では、「復元モード」を設定できます。設定が完了したら、「次へ」 をクリックします。

ysReturn 8.0.005(W251) - インスト	ールウィザード	×
復元設定		
	Default recovery mode: • Auto recovery • Auto reserve • Auto Save • Time	
	● Every 1 days 0 Hour : 0 Minute 復元 ● Weekty 日曜日 ~ 0 Hour : 0 Minute 復元 ● HonNhty 1 ~ 0 Hour : 0 Minute 復元	
	If you are going to use auto-recovery mode for long term, please set the program(s) which will auto-update in background (eg. WindowsUpdate or Antivirus Program) to be manual update.	
	< 戻る(B) [法へ(N) >	キャンセル

9、パスワードと最大復元ポイント数(最大 30 個の復元ポイントを選択)を設定してください。



10、フォルダを設定しても、予約スペースのサイズと位置は復元されません。

rsReturn Pro 8.0.005(W281) - インスト 非 社 元: フォルダの 設定 非 現 元: フォルダの (米存領域の場所と	ルウィザード イズの指定 パーティション C: ✓ 空き容量: 164419MB 3月夏元フォルグ用の予約可能サ イズ: 最大 49325MB、最小 100MB 子約サイズ: ■ ★ X 最大予約可能時期 (100 MB)
	< 戻る(B) (次へ(N) >) キャンセル

11、マスター(console)と通信するポートと IP アドレスを設定します。[ネットワーク機能を インストール] オプションを選択しなかった場合、この画面は表示されません。

/sReturn 8.0.005(W251) - インストールウィザ	× ×
マスターのIPアドレスとボート番号の設定	
	マスターとの過信ボート番号: 7910 マスターのIPアドレスまたはDNS名をi信か。
	1997ドレスを3億加(①) 目1985年3億加(①) 目1985年3億加(①) 目1985年3億加(①)
_	< 戻3(E) (法へ(U)) キャンセル キャンセル

注意:

ここでの IP アドレスはマスターの IP アドレスであり、ポートはマスターインストール時のポ ート設定と一致する必要があり、環境は他のネットワーク通信ポートと同じである必要が あります。そうでない場合、マスター側の IP アドレスが正しく設定されていても、マスター側 との正常な通信は維持されません。

12、インストール内容を確認し、間違いがなければ「次へ」を押してください。

•↑ルコヒ[*]ーの開始 ファイルのユビーを開始する前に、設定	内容を確認してください。 フロッジウィイトのコームを開始するための情報部にたの達別です。設定を確認して、ま るびすみをかりつします。現在の設定でよい場合は、したへ体すりをかりつうをとうかん 確たの時をデ	変更を必要とする場合はI戻 いのコピーを開始します。
	インストール準備が完了したソフトウェア:¥ SysReturn¥ インストールパン¥ CXProgram Files (x80)¥Howyxe¥SysReturn¥ 使用¥計E335)¥ が 選択された(保護)パーラィンコン¥ CX 記動時の()提課モード¥ 自動調定で¥	^
		~

13、この製品プログラムのインストールを開始します。



14、Windows の部分的なインストールが完了したら、コンピューターを再起動する必要があります。再起動後、この製品プログラムは DOS の下の復元プログラムを自動的にイン ストールします。

インストールシールドウィザード	100
変更を有効にするには、システムを再始動する必要があります。 [OK]をクリックして今すぐ再起動します。	
OK	

3. 第三章 Windows インターフェイスの操作

Windows オペレーティングシステムで、クライアント側の製品インターフェイスに入ります。 保留、復元、保存、削除、設定、復元情報の表示などの機能を当マシンで実行できます。

【操作方法】:

<1>タスクバー内のこの製品アイコンにマウスを移動してください。マウスを右クリックして 次のメニューから「インターフェイスの表示/非表示」を選択します。



<2>ログイン画面が表示され、パスワードを入力すると(既定のパスワードは空です)、メインターフェイスが表示されます。



現在、確立している復元ポイント情報を表示します。



保護エリア情報

保護エリアの総容量、保護エリアの使用済み容量、保護エリアの残りの容量に関する情報を表示します。

注意:残りの領域が低すぎると、部分的な復元ポイント機能が強制的にロックされます。 運用を再開するには、スペース解放が必要です。



 使用済:	78.77GB
残容量:	385.33GB
保護サイズ	: 4 <mark>64.10</mark>

パーティション情報

ハード ディスク パーティションの分割情報を表示します。

SysReturn					?	-	×
🕼 🛪 🗕 【	3 復元ポ	イントの管理	ि छ	レドアロン環境 🧯	3 設定		
$\leftarrow / \backslash -$	ドデ	ィスク	分割等	領域デー	タ		
ハード ディスク 保護エリアの容	7 の総容量 量:464.1	: 465.76GB 10GB					
ディスク ドライン	ラベル	ファイル システム	サイズ	更用可能なサイス	保護状態		
*0		FAT32	260.00MB	227.00MB	保護		
*1		MS Reserved	16.00MB	OB	保護		
С	OS	NTFS	464.93GB	389.99GB	保護		
*3		NTFS	571.00MB	82.30MB	保護		
施しのスペース	が数生活	太下回ったとき	に通知する	. 10 0/			
えりのスペース		STED/200	1-2世入19 3	. 10 70			
V8.0.005(W251)							

空き容量アラーム

設定 ハードディスク保護領域の残り領域が設定値より小さい場合、警告ウィンドウが表示されます。

説明:

復元システムは、保護パーティションの残りの領域を厳密に制御します。保護パーティ ションの残りの領域が保護パーティションの合計スペースの 10%未満である場合、警 告ウィンドウがポップアップ表示され、ユーザーにプロンプトが表示されます。: ディス クの空き容量が不足しています:保護パーティションの残りの領域が保護パーティショ ンの合計スペースの 5%未満である場合、プログラムは保護パーティションをロックし、 ユーザーのデータを書き込み操作の実行ができないようにします。ユーザーのデータ 読み取りと削除のみを許可します:また、プログラムはクライアント側のマスターインタ ーフェイスを開くことを許可しません。復元ポイントを保存する操作をユーザーが実行 できないようにするため、ユーザーがクライアント側のインターフェイスを開こうとする と、復元ポイント開始点を更新するように求められます。 3.2、追加

機能の概要:

現在の保護パーティションの状態を、後で復元するための動的復元ポイントとして新しく作成します。この製品クライアント側は、ハードドライブの容量に応じて、最大 29 の動的復元 ポイントを保持することができます。29 個の復元ポイントがいっぱいになった場合、最新の 保存された復元ポイントは、最も古い復元ポイントに上書きされます。

【操作方法】:

<1>メイン インターフェイスの クィック^{追加}アイコンをクリックします。(このセーブポイント メソッドでは、名前と説明を設定できません。DOS で直接ポイントを保存します。)次の画 面が表示されます:

ヒン	\$		×
?	再起動すると、新し	い復元ポイン	トが保存されます。今すぐ再起動しますか?
		Yes	No
		\square	

<2>2 番目の追加方法:機能バーアイコン で ^{復元ポイントの管理}をクリックすると、次のインタ

ーフェイスが表示されます:

SysReturn Pro		a da Tanàna Manana an	? – ×
☆ ホーム 【記 復元ポイントの管理】) スタンドアロン環境	段 設定	
並べ替え: 時間順(昇順) 🗸	④ 復元ポイント追	加復元於介	い情報
Root 2020/	0/08 14:54:05 28.670	- 復元ポイント名: - ロック状態:	Root
		 - 追加方法 - 現在のポイント、 - 追加時福: - 復元ポイントリス*: - 復元ポイントの説明 	DOS(BOS) (ない 22220/10/05 1454:05 2223/10/05 1454:05 223:47:68 : : :
V8.0.009(W283)			

SysReturn		? – ×
🏠 ホーム	の管理 👛 スタンドアロン環境	ŧ (?) 設定
並べ替え:時間順(昇順) で First RP	✓ 復元点追加 2020/05/02 17:16:03 78.33GB	←新しいポイン… 名前: 説明: □ 再起動 □ ロック ④ 決定
V8.0.005(W251)		

この時点でハードディスクのステータスを保存する必要があります。後で区別するために、 復元ポイントの名前と復元ポイントの説明を入力してください。

[決定] をクリックすると、Windows で復元ポイントが作成されます。(再起動を選択して、コンピューターの再起動時に復元ポイントを保存します)

注意:[再起動]のチェックを外すと、コンピューターは Windows デスクトップに復元ポイント を追加します。Windows の背景にあるアーカイブがコピー操作中である場合、新しい復元 ポイントのコンテンツ データが正しくないため、次回この時点に復元したときにデータが 不足していることが原因で、電源が切れる可能性があります。したがって、新しい復元ポ イントが長期間使用され、コンテンツ データが正しいことを確認するには、[再起動] をチ ェックして新しい復元ポイントを追加します。

3.3、復元

機能の概要:

ハード ディスクの状態を、以前に保存した任意の復元ポイントの状態に復元します。

【操作方法】:

🕢 復元する

<1>メインインターフェイスで復元ポイントの管理を選択した後、メインインターフェイスの

アイコンをクリックすると、次のインターフェイスが表示されます:

とント

(Root)に復元をするにはコンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか?

Yes
No

最後に保存したバックアップ ポイントに戻す:

ハード ディスクの状態を最後に保存した復元ポイントの状態に復元します。

別のバックアップ ポイントを選択する:

ハード ディスクの状態を、以前に保存した復元ポイントの状態に復元します。この復元ポ イントには、以前に保存した動的復元ポイントまたは開始復元ポイントを指定できます。

<2>必要に応じて選択したら、[決定] ボタンをクリックして復元操作を開始します。

3.4、削除

機能の概要:

以前に保存した不要になった 1 つ以上の復元ポイントを削除します。削除後、この復元 ポイントへのハードディスク状態には戻れません。

【操作方法】:

<1>復元ポイントの管理を選択した後、次のインターフェイスが表示されます:

SysReturn Pro		? – ×
☆ ホーム そ 復元ポイントの管理	里 💪 スタンドアロン環境 🔅	設定
並べ替え:時間順(昇順)	∨ ④ 復元ポイント追加	復元ポイント情報
Root	2020/08/12 19:57:57 19.16GB	- 復元ポイント名: Test - ロック状態: いいえ
• Test	2020/08/12 20:02:09 246.66MB	- 追加方法: Windows - 現在のポイント: いいえ
Update	2020/08/12 20:02:57 41.14MB	- 適加時間: 2020/08/12 20:02:09 - 復元ポイントサイズ: 246.66MB - 復元ポイントの説明:
		 復元する 上書き 一 削除 ④ ロック

<2>削除する必要がある復元ポイントを選択し、[削除] ボタンをクリックして削除します。 削除後、この復元ポイントの状態には復元されません。

注:現在の復元ポイントは削除できません。したがって、現在の復元ポイントは、削除可能 な復元ポイントの一覧に表示されません。

3.5、復元ポイントのロック

機能の概要:

復元ポイントのロックは、削除したり新しく作成された復元ポイントで上書きしたりできません。必要なハードディスクの状態が誤って削除または上書きされるのを防ぎます。復元ポ イントのロックを解除して、上書き可能な状態に戻すことができます。

【操作方法】:

<1>赤いボックスのアイコンをクリックします:

SysReturn Pro		? – ×
🏠 ホーム 🐻 復元ポイントの	管理 💼 スタンドアロン環境 🔅	設定
並べ替え:時間順(昇順)	~ ④ 復元ポイント追加	復元ポイント情報
Root	2020/08/12 19:57:57 19.16GB	- 復元ポイント名: Test - ロック状態: いいえ
• Test	2020/08/12 20:02:09 246.66MB	- 追加方法: Windows - 現在のポイント: いいえ
Update	2020/08/12 20:02:57 41.14MB	- 追加時間: 2020/08/12 20:02:09 - 復元ホ* イントサイズ: 246.66MB - 復元ホ* イントの説明:
		 復元する 上書き 削除 ④ ロック
V8.0.008(W281)		•••

<2>ロックする復元ポイントを選択し、[ロック] ボタンをクリックしてロックします。

<3>ロックを解除する復元ポイントを選択し、[ロック解除] ボタンをクリックして、復元ポイントのロックを解除し、復元ポイントを元の状態に戻します。

注意:復元ポイントのロック機能は、動的復元ポイントに対してのみ有効であり、復元ポイント開始点をロックすることはできません。

3.6、スタンドアロン環境

1、 インターフェイスの機能バーの な スタンドアロン環境 アイコンをクリックすると、次のようなインターフェイスが表示されます:

SysReturn				?	-	×
🟠 🛪 – 🎜 📲	5 復元ポイントの管理	🛱 スタンドアロン	環境 🚯 設定			
スタン	ドアロン環	境				
ダクト・	名前	依存ポイント	時閣	1	サイズ	
		\square				
		追加	削除 変更	;	進む	
V8.0.005(W251)						••••

2、 [追加]をクリックすると、次のインターフェイスが表示されます。:

SysReturn	? – ×
🏠 ホーム 🛛 寝元ポイントの管理 🧰 スタンドアロン環境 🗐	設定
←スタンドアロン環境の作成	
依存点: First RP 名前:	~
パスワード:	
パスワードの確	
該 第93:	
決定	
V8.0.005(W251)	

3、 [削除]をクリックすると、新しく作成された独立環境が削除されます。

ヒント	×	
?	スタンドアロン環境を削除しています [1]。続行しますか	?
	Yes No	

4、 [変更] をクリックすると、次の画面が表示されます:

SysReturn				?	-	×
🟠 கடக 🐻	復元ポイントの管理	💼 スタンドアロン環境	(分) 設定			
←スタン	/ドアロン	環境データの)変更			
依存点: 名前: パスワード: パスワードの確	First RP					
説明:						
		決定				
V8.0.005(W251)						••••

5、クリックしてポップアップウィンドウを開きます:

ヒント	×
?	スタンドアロン環境に入るには[%s]を再起動する必要があります。続行しますか?
	Yes No

注意:

スタンドアロン環境表示リストは開くように事前設定されており、待機時間を設定したり、ス タートアップ画面に表示するかどうかを設定したりできます。スタンドアロン環境に入った 後は、ソフトウェアを開くことができず、スタンドアロン環境での操作は復元されません。

3.7、設定

機能の概要:

リセットパラメータ、マスターの接続ポート、ネットワークプロパティなど、必要に応じてこの 製品の関連パラメータを設定できます。

3.7.1 電源起動復元モードの設定

SysReturn ? - ×				
🏠 ホーム 🐻 復元ポイ:	ントの管理 🔂 ス	タンドアロン環境 🚯 設定		
(①) 電源起動モード	電源起動	前復元モードの設定		
💮 ネットワーク設定	◉ 自動復元	● 起動ごとに		
・ ドメイン設定	○ 自動保存	○毎間1 日 00:00		
心・ ブートメニュー	○ 手動復原	○每週日 at 00:00		
cm ブートホットキー		○毎月1 目00:00		
C-D コンソール側				
🕑 デバイスの制御				
		キャンセル 使い分け		
V8.0.005(W251)				

復元モード

- **自動復元**:復元を実行すると、コンピューターを再起動するたびに、システムが現在 選択されている復元ポイントの状態に自動的に復元されます。
- 自動保存:ストレージの復元ポイントを設定すると、コンピューターを再起動するたび に新しい復元ポイントが自動的に作成されます。(最大復元ポイントの上限に達す ると、最も古く、ロックされていない動的復元ポイントが上書きされます。)
- **手動復元**:手動復元を設定すると、コンピューターを再起動してもシステムは以前に 実行した操作を復元しません。
- 時間指定保存:数日間、現在のハードディスクの状態を保存します。必要に応じて 数日ごとに1~99日間の範囲を選択できます。
- 時間指定復元:数日ごとに復元します。必要に応じて数日ごとに 1~99 日間の範囲 を選択できます。

注意:

7日ごとに復元するように設定すると、コンピューターは8日目に初めて電源を入れると自動的に復元操作を実行します。8日目は電源が入らず、14日目に電源を入れると、14日

目の電源がオンになったときに、自動的に復元操作を実行します。15 日目に電源を入れ ると、また自動的に復元操作を実行します。など、復元操作は 15、22、29 …日の後に初め て電源を入れた日に自動的に復元が実行されます。

ほかの機能はユーザーマニュアルをご参照ください。

4. 第四章 DOS インターフェイスの操作

DOS アニメーション起動時に、ホームボタンを押して DOS 操作インターフェイスに入ります。

4.1、DOS インターフェイスに入る

説明:

1.この製品のすべてのインターフェイスは、Windows スタイルです。

2.キーボード操作のサポート。

- 3.キーボード操作。
 - (1) 矢印キーの左右のキーは機能選択ボタン、矢印キーの上下のキーで復元ポイントの選択、<Enter>は確認を示し、<ESC>はキャンセルまたは返品を意味します。
 - (2) <Tab>キーと<Shift> <Tab>を使用すると、個々のインターフェイス コントロールを切り替えることができます。

4. 製品の機能を実行してコンピューターを再起動するように設定した後、コンピューターの電源を入れたときに<Home>または<Scroll Lock>を押して最後のコマンド操作をキャン セルすることができます。

詳細な操作:

DOS 操作インターフェイスに入る方法は 2 つあります:

- コンピュータの BIOS の電源が入った後、Winodws に入る準備をすると、背景を持 つカウントダウン ライト バーが表示されます。キーボードの〈Home〉キーを押す と、DOS インターフェイスのログイン画面が表示されます。
 - コンピューターの BIOS 起動画面 RUN が実行された後、Winodws に入る準備をすると、背景を持つカウントダウンライトバーが表示されます。キーボードの 〈ScrollLock〉キーを押すと、DOS インターフェイスのログイン画面が表示されます

リカバリーマ	ネージャーに移行します。パスワート	『を入力してください』	
~~			<u>0</u> K
ワンタイム	5991950101		

パスワードを入力したら、DOSメイン インターフェイスに移動します。

SysReturn Pro				
 () () () () () () () () () () ((復元先) 保存	ドレント	デフラグ ペースポインド夏新	 さいかりつう管理
ライセンスキー マ	名前	サイズ	日付と時間	▲ 合計サイズ: 50.24GB
0 	Root	18960B	2020-08-12 201051	空き雪 (寝元モト=6 動で寝元 (寝元モト=6 動で寝元 F1 単株 F2 寝元 F3 寝元先 F4 (穿存 F5 前原 F5 前原 F5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 / 5 /

ほかの機能はユーザーマニュアルをご参照ください。

4.2、アンインストール



DOS の下でのアンインストール機能は、システムを復元のベースポイントに復元した後、 この製品を削除することです。すべての動的復元ポイントが削除され、動的復元ポイント のデータは保持されません。動的復元ポイントの削除を維持する場合は、この製品の windows の下のアンインストール機能を使用します。

DOS でアンインストールを実行すると、システムは 2 回再起動します。復元しないデータの保持と開始点の更新は個別に実行されます。

【操作方法】:

<1> DOS メイン インターフェイスで [アンインストール] を選択した後に表示されます:



🛃 SysRetur	n Pro		
i	eRecoveryをアンインストールした後のシステムステータスを選択してください。 1: ベースポイントに復元し、アンインストールします。(FirstRPの状態) 2: 現在の状態を保存し、アンインストールします。		
	1 2 キャンセル		

<2> 1 または 2 を選択し、[OK] をクリックして、この製品をアンインストールします。コンピュータは、まず Windows オペレーティングシステムに入り、Windows で復元されたクライアント側プログラムを自動的に削除します。



<3> その後、コンピュータが再起動されます。起動時に初期復元ポイントを自動的に更新 し、DOS のプログラムを削除します。

<4>オペレーティング システムに入ったら、アンインストールが終了します。

備考:

DOS 上からは、「ベースポイント」または現在の状態でのアンインストールのみ可能です (上記の<2>の説明)。任意のポイントを選択した状態でアンインストールしたい場合は、事 前に任意のポイントを「ベースポイント更新」にしてから実行してください。

SysReturn Client V8.0 クイックガイド

2020年10月20日

製品サポート

株式会社グリーンフラッシュジャパン 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-22-2 神宮レジデンス 1F TEL 03-5775-2585 FAX 03-5775-2586

URL: <u>http://www.gfj.co.jp</u>